

地域・在宅看護論

専門分野

(令和4年度1年生用)

授業科目	地域と暮らし	講師	氏名	藤本祥子	開講年次	単位・時間		
			所属	専任教員	1年次 前期	1単位 30時間		
			実務経験	臨床看護師				
科目のねらい	福津市で暮らす人々の日々の生活とあらゆる健康レベルにある個人・家族、集団、地域を対象とした健康課題に気づき、「自助・互助・共助・公助」の実際を知り専門職の役割を考えることができる。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域、生活をとらえ、周辺の地域の特性を知る。</li> <li>2. 地域で暮らす人々の生活を知り、年代、あらゆる健康レベルにある個人・家族、集団、地域の特性を述べるができる。</li> <li>3. 地域の郷づくりの特徴を述べるができる。</li> <li>4. 「自助・互助・共助・公助」の実際を説明できる。</li> </ol>							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域のコミュニティの特性について、地域活動、インタビューを通して地域で暮らす人のライフストーリー、生活状況を検討し事例発表する。</li> <li>2. 地域活動を通して、関わる人々の生活上の問題点、家族の在り方について討議し自己の考えを再構成することができる。</li> <li>3. 社会資源の現状評価、SDGsの視点で社会資源の創出をグループワークで述べるができる。</li> </ol>							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グループワークで、自分の意見を積極的に述べ、ディスカッションすることができる。</li> <li>2. 教科書及び講義で学んだ知識をベースに他の文献も活用して基礎的知識、講義での知識を活用し自己学習することができる。</li> <li>3. 他者の意見を受け入れ、認めることができる。</li> </ol>							
科目評価	ループリック評価によるレポート評価30%    GW参加状況10%    リアクションシート30%    まとめレポート30% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 (メディカ出版)							
参考文献	系統別看護学講座 在宅看護論 (医学書院)							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	地域でのコミュニティ SDGs オリエンテーション	○	○		藤本祥子	公衆衛生 文化人類学	教科書：「地域療養を支えるケア」地域と生活を読んでおく	
2	地域でのコミュニティ		○				情報収集/地域活動について調査 アポイント 企画書提出	
3			○				対話/まち歩き 実際に、地域に出て地域の人にインタビュー してみる	
4	地区踏査/オリエンテーション		○					
5			○	○				
6		地区踏査		○		○		
7			○	○				
8	地域で暮らす人々を取り巻く環境		○	○		公衆衛生 社会保障 健康教育	社会資源：福津市で暮らす人々の社会資源について調べる	
9	地域で暮らす人々を取り巻く環境		○					
10	SDGs 社会資源の評価 社会資源の創出		○			発達心理学 家族看護学 多言語コミュニケーション	GW：現在の社会資源について現状を評価する。SDGsの視点で社会資源の創出を考える	
11	SDGs 社会資源の評価 社会資源の創出		○					
12	地域活動		○	○				地域に出て地域活動に参加
13	地域活動		○	○				
14	発表		○					グループで発表
15	発表		○					
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							